

[標準様式例 7-3]

## 随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	R 2 レーダ雨量計データ処理システム（次世代）運用検討業務
業 務 概 要	本業務は、国土交通省が管理するレーダ雨量計データ処理システムについて、次世代のシステムとしてクラウドサービスへの移行やPPP/PFIの適用可能性について検討を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部署の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 石原 康弘 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契 約 年 月 日	令和2年6月10日
契 約 業 者 名	R 2 レーダ雨量計データ処理システム（次世代）運用検討業務河川情報センター・建設電気技術協会設計共同体
契 約 業 者 の 住 所	東京都千代田区麴町一丁目3番地ニッセイ半蔵門ビル
契 約 金 額	¥29,986,000円（税込み）
予 定 価 格	¥29,997,000円（税込み）
随意契約によることとした理由	本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、技術力、経験、業務体制、特定テーマなどを含めた技術提案を求め、簡易公募型プロポーザル方式に準じた方式により選定を行った。 R 2 レーダ雨量計データ処理システム（次世代）運用検討業務河川情報センター・建設電気技術協会設計共同体は、技術提案書をふまえ当該業務を実施するのに適切と認められたため、上記業者と契約を行うものである。
業 務 場 所	埼玉県さいたま市中央区新都心2-1 関東地方整備局
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 （ 自 ）	令和2年6月11日
履 行 期 間 （ 至 ）	令和3年2月26日
備 考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。